

新任教授紹介

診療や研究の環境を整え、安心して出産・育児ができる愛媛県へ

小児科学講座 教授 江口 真理子

私は小児科の中でも、小児血液疾患、小児がんや遺伝医療（ゲノム医療）を専門としています。ゲノムに関心を持ったのは高校時代。患者さんの病気を治したくて、研究を診療に繋げていかねばと、がんの原因や治療法を遺伝子異常から見いだす仕事をしてきました。最近、がんの遺伝子研究から発展したがんゲノム医療が話題となっており、多くの研究者の長く地道な研究成果が診療へと繋がっていることに嬉しさを感じます。

当院は女性医師へのサポートが充実し、一人ひとりの声がよく反映されていると思います。これはすなわち患者さんの声が反映されている病院と言えると思います。スタッフがそれぞれの仕事や生活に幸せを感じる職場環境が大切だと考えます。仲間と一緒に愛媛県の小児医療をさらに発展させ、また大学としてのミッションである研究のレベルアップにも取り組み、愛媛県の小児医療の発信力を高めたいと思っています。小児科スタッフが「一緒に仕事ができてよかった」と思えることが、誰もが安心して子どもを生み育てることができる愛媛県の小児医療体制につながります。ぜひ、応援をお願いいたします。



PROFILE

えぐちまりこ◎広島大学医学部卒業。2008年より当院、2019年より現職。好きな言葉はスティーブ・ジョブズ氏の「Have the courage to follow your heart and intuition」（自分の心を信じる勇気を持とう）。